

公衆衛生学

学科		シラバス(概要)
コース		
履修条件	自律学習修了し理解度確認「振り返り」課題提出した者	
ユニット	高位平準動物看護概論	公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全等に活かせる知識を身につける。動物の看護に関係する衛生学は、個々の動物の生命と健康に障害を及ぼす各種要因についての動物衛生と、社会一般への疾病の予防を目的とする公衆衛生がある。公衆衛生は、ヒトと動物の全てを対象とした分野であり、獣医療に関わるうえでも重要な分野である。また、関連するさまざまな環境要因とヒトの健康である疾病予防、早期発見、健康維持および増進に役立てる総合的な学科目である。ヒトと動物の共生など対象とする科目では、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生があり、滅菌と消毒、動物防疫学についても学習する。動物看護師として動物病院で勤務する際に衛生面で注意すべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かせるよう学習する。
科目名	公衆衛生学	
単位		
履修時間	30時間中の3時間	
回数	10回中の1回	
授業形態	対面授業	
作成者		
教科書	動物看護コアテキスト3、動物の疾病と予防および回復(ファームプレス)	本講座3時間目に対面学習確認テストを実施する。また、10回目授業時に最終確認テスト(8教科分:五択問題)を受け、60%以上正答の受講者には修了証が発行される。
参考図書		

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	公衆衛生学概論	1.シラバスとの関係	獣医療および動物看護学の基礎知識と実践をもとにして、公衆衛生の発展に寄与できる。	
		2.コマ主題	動物看護と公衆衛生の関係性を考え、公衆衛生の目的と活動を理解する。	
		3.コマ主題細目	①公衆衛生の定義と目的 ②対象となる領域	
		4.コマ主題細目深度	①公衆衛生学の定義と目的を知る。動物とヒトの相互依存関係を対象としていることを理解する。②動物看護と公衆衛生の関係性を考える。対象となる4つの領域(「動物飼育衛生管理とその指導的役割」、「人獣共通感染症の予防と対策」、「ヒトの精神衛生とヒトと動物の関係」および「動物の愛護と福祉」、「衛生行政と関連法規」)がなぜ公衆衛生に寄与するかを考える。	
		5.次コマとの関係	人獣共通感染症の総論と、予防について学ぶ。	
2	人獣共通感染症;消毒と滅菌	1.シラバスとの関係	人獣共通感染症(ズーノーシス)について学び、動物看護師としてそれらの予防活動と飼い主への指導ができるようになる。また、自分自身に感染しないようにする。	
		2.コマ主題	人獣共通感染症の定義とその現状を知る。また、新興感染症と再興感染症の発生要因を知る。	
		3.コマ主題細目	①人獣共通感染症の定義 ②人獣共通感染症の現状	
		4.コマ主題細目深度	①WHOが定義している人獣共通感染症(ズーノーシス、動物由来感染症)の定義を知る。日本国内で問題になる約40種の人獣共通感染症を知る。②社会的に問題となっている「新興感染症」や「再興感染症」が説明できるようになる。主な新興、再興感染症の大半は人獣共通感染症であることを知る。	
		5.次コマとの関係	動物防疫について学ぶ。	
3	人獣共通感染症と防疫	1.シラバスとの関係	人獣共通感染症や院内感染を含めた、感染症の予防にはどのような対策がとられているかを学び、動物看護師として防疫対策が実践できるようになる。	
		2.コマ主題	人獣共通感染症の対策について学ぶ。	
		3.コマ主題細目	人獣共通感染症と新興感染症と再興感染症の発生要因	
		4.コマ主題細目深度	①日本で人獣共通感染症の予防対策として制定された法律にはどのようなものがあるかを知る。特に感染症法の分類について学習する。②新興、再興感染症の発生要因を考え、予防方法を知る。③滅菌と消毒について復習する。	
		5.まとめ	まとめと確認テスト	